

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録5周年記念特別展



北の縄文世界

— 円筒土器文化をさぐる —



黒曜石製石器
木古内町
幸連(5)遺跡
太平遺跡



土偶
青森市
三内丸山遺跡
重要文化財



人面付土器
八戸市
石手洗遺跡

2026. 4.11^土-6.21^日

会場 三内丸山遺跡センター
企画展示室

観覧料 一般 800円(640円)
大学生等 400円(320円)
高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金
※特別展観覧料で遺跡を含む常設展もご覧いただけます。

観覧時間 9:00~17:00
(4/11~5/31・GW除く)

9:00~18:00
(GW、6/1~6/21)
※入場は閉館の30分前まで

休館日 4月20日(月)、5月25日(月)
主催 三内丸山遺跡センター
後援 縄文遺跡群世界遺産本部



北の縄文世界

— 円筒土器文化をさぐる —

令和8年度で、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されてから5周年を迎えます。

本遺跡群は、農耕社会以前の定住の開始、発展、成熟を示す17の縄文遺跡で構成されます。北海道・北東北では、定住の発展期とされる縄文時代前・中期に、祭祀具の発達、他地域との活発な交流・交易、拠点集落の出現等を特徴とする「円筒土器文化」が展開しました。

本展では、北海道・北東北の出土品等を通じて、文化の広がりや特徴について紹介し、近年の研究成果をもとに円筒土器文化の実態に迫ります。

｜展｜示｜概｜要｜

はじめに

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、農耕社会以前の定住の開始、発展、成熟を示す17の縄文遺跡で構成されます。このうち、定住の発展期とされる縄文時代前・中期の北海道・北東北には、円筒土器文化が展開したことを紹介します。

I 円筒土器文化について

円筒土器文化の概要について、年代や範囲、自然環境の変化等に触れながら解説します。

II 出土品からみた文化の特徴

多様な道具と豊かな精神性、他地域との活発な交流・交易等を示す様々な出土品を通じて、円筒土器文化圏における共通性や地域性等について紹介します。

【展示資料】

- 人面付土器（石手洗遺跡） ●黒曜石製石器（幸連5遺跡） ●装飾品（ニツ森貝塚）
- ヒスイ製大珠（三内丸山遺跡） ●岩偶（熊沢遺跡）

III 集落の様相

近年の調査研究成果をもとに、円筒土器文化圏の集落構造、住居や墓の特徴等を解説し、集落の様相からみた文化の特徴について紹介します。

【展示資料】

- 竪穴建物出土遺物（三内丸山遺跡） ●土坑墓副葬品（池内遺跡）
- 埋設土器（大日向II遺跡）

おわりに

円筒土器文化は、農耕社会以前の定住の発展を支えた文化であり、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の内容を理解する上で、欠かせない要素のひとつであることを伝えます。



円筒土器
三内丸山遺跡（青森市）
重要文化財



岩偶
熊沢遺跡（青森市）



櫛
ニツ森貝塚（七戸町）
県重宝



竪穴建物跡全景／三内丸山遺跡



埋設土器破出土状況／三内丸山遺跡

参加無料 同時開催!!

※ギャラリートークの参加は、別途特別観覧料が必要です。
※講座・体験への参加後に遺跡や展示を見学される場合は別途観覧料が必要です。
※申込方法等詳細は三内丸山遺跡ホームページをご覧ください。

4/11(土)~6/21(日)
期間中の土・日・祝 11:00~20分程度
※5/23, 5/30, 6/6, 6/20を除く

ギャラリートーク
定員15名（事前申込不要、先着順）

5/30(土)・6/20(土)
9:30-12:00 10:00-15:00

さんまる縄文体験「土器を作ろう」
定員20名（事前申込制、先着順） ※2回コース

5/23(土)
10:00-11:30

さんまる縄文学講座①
テーマ「北海道・北東北の円筒土器文化」
定員40名（事前申込制、先着順） 講師：岡田 康博（三内丸山遺跡センター顧問）

6/6(土)
10:00-11:30

さんまる縄文学講座②
テーマ「北陸からみた円筒土器文化」
定員40名（事前申込制、先着順） 講師：永瀬 史人（新潟県立歴史博物館）

お問い合わせ

三内丸山遺跡センター

TEL.017-766-8282

〒038-0031 青森県青森市大字三内字丸山305

